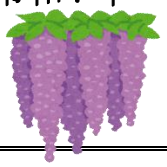
宗岡第二小学校だより

令和７年　５月号
No. 2



学校教育目標

よく考える子　やさしい子　たくましい子

あいさつの声が響く学校・地域を子どもたちから

校長　赤沢　直幸

新年度がスタートして、早くも約１か月が過ぎました。さわやかな新緑の季節を迎え、学校の教育活動も軌道に乗ってまいりました。子どもたちは新しい学年、新しいクラスでいきいきとした学校生活を送っています。

毎朝、正門で子どもたちを出迎えながら「おはようございます」と子どもたちとあいさつを交わしています。多くの子どもが私からのあいさつに元気よく「おはようございます」と返してくれます。中には、私より先に声をかけてくれる子もいて大変嬉しく、朝から元気をもらっています。一方で、小さな声で恥ずかしそうに言う子やうつむきながら返事をする子、何とかアイコンタクトは成立したかなぁという子など様々な様子が見られます。

あいさつは人と人との心の通い合いです。人間は一人では生きていくことはできません。必ず他人との関わりの中で、自分を生かしていくことになります。そのための入口として、あいさつをすることが大切です。あいさつは、ただことばを通じさせるだけのものではなく、お互いの気持ちを通じさせるものです。

子どもたちから発せられる「おはよう」の一言にはいろいろな意味が込められているかもしれません。家族には、「今日も元気に目覚めたよ」「朝ごはん作ってくれてありがとう」、地域の皆様には「登校を見守っていただきありがとうございます」、そして教職員には「今日も一日よろしくお願いします」といった感じでしょうか。そうだとしたら、「おはよう」のたった４文字が魔法のような４文字になりますね。

さて、本校の４月の生活目標は「あいさつと返事をしよう」というものでした。生活目標を振り返り、元気なあいさつができている子は、そのパワーを学校だけでなく地域にも広げてほしいと思います。また、恥ずかしいな、苦手だなと感じている子は、できる場所や場面から勇気を出して大きな声であいさつをしてみてください。気持ちよい一日は、さわやかなあいさつから始まります。学校では引き続き、あいさつの充実を図ってまいります。ご家庭や地域の皆様も、将来、子どもたちが「あいさつのできる大人」に成長するよう長い目で声をかけていただけると幸いです。ぜひ、あいさつのできる子をほめてあげてください。

１か月がんばったご褒美の大型連休（ゴールデンウィーク）に入りました。たくさんの経験や思い出ができることを願うとともに、規則正しい生活で、４月につくってきたリズムが崩れないようにしてほしいと思います。